

Ⅱ 学校教育 学校管理課

1. 学校管理課 Tel : 049-224-6109

(1) 校種間連携教育

【令和8年度事業予定】

- ・川越市の教育の一層の充実のため、小・中学校等の校種間連携を進める。
- ・教育委員会と学校が車の両輪として教育を推進するために、定期的に学校訪問を行い、学校と教育委員会の意思疎通を図り、教育の充実に資する。

【小中学校 グループ編成】

_____は令和8年度の委嘱校

型		中学校	小学校	地区	
一 小 一 中 型		<u>芳野中</u>	<u>芳野小</u>	芳野	
		<u>福原中</u>	<u>福原小</u>	福原	
		山田中	山田小	山田	
		大東西中	大東西小	大東	
		鯨井中	上戸小	名細	
		東中	古谷小	古谷	
	施 設 分 離 型	グループA	高階西中 寺尾中	高階西小 高階南小 寺尾小	高階
霞ヶ関中 霞ヶ関西中			霞ヶ関小 霞ヶ関南小 霞ヶ関西小	霞ヶ関	
霞ヶ関東中 川越西中			霞ヶ関東小 霞ヶ関北小 川越西小	霞ヶ関北 川鶴	
<u>名細中</u>			<u>名細小</u> <u>広谷小</u>	名細	
グループB		川越第一中	川越第一小 仙波小	本庁	
		初雁中	川越小 今成小		
		<u>富士見中</u>	<u>中央小</u> <u>月越小</u>		
		城南中	新宿小 大塚小		
		野田中	泉小		
		高階中	高階北小	高階	
		砂中	高階小		
		大東中	大東東小 武蔵野小		大東
		南古谷中	南古谷小 牛子小		南古谷

※1小1中型

➤地区内で唯一の小学校と中学校である、もしくは、進学先が当該中学校のみであるもの。

※施設分離型（グループA）

➤学校の位置関係上、分かれて進学（2中3小）もしくは、1つの中学校に進学するもの。

※施設分離型（グループB）

➤進学元の小学校が3校以上ある、もしくは、地区を越えて進学するもの。

【特別支援教育連携】

学校名
市立特別支援学校、初雁中、富士見中

※ 市立特別支援学校は、川越市の特別支援教育のセンターとして、他の小・中学校とも随時、必要に応じて連携する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・各学校が年度当初に計画を立て、年度末に報告を行い、PDCA サイクルによる継続的な改善を行った。また、この改善を受けて、小・中学校の 9 年間を見通した「目指す児童生徒像」の研究や、合間で教科等の研修を行うなど、教育課程の連携を中心とした実践段階への移行を進めた。

(2) かわごえミドルリーダー研修

【令和 8 年度事業予定】

- ・ミドルリーダーとして、教育に対する識見を高め、学校課題の分析と解決プランの立案、組織マネジメント、人材育成、危機管理等に必要な資質の向上を図ることを通して、学校運営を推進する人材を育成する。
 - ① 年間 9 回の研修を行う。2 年以上継続しての受講も可。
 - ② 各年度の研修参加人数は 15 人程度とする。

【令和 7 年度事業実績】

- ・年間 9 回の研修を実施し、16 人が参加した。

(3) オールマイティーチャーター配置事業

【令和 8 年度事業予定】

- ・各学校の課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実やいじめの早期発見、学力向上に向け、こどもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・小学校 3 校に 3 人、中学校 8 校に 8 人、計 11 人を配置した。

(4) 地域人材活用事業

【令和 8 年度事業予定】

- ・川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、専門的知識を生かした多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ① 実施回数 181 回
- ② ご協力いただいた地域の方々 837 人
- ③ 事業の一例……読み聞かせ、農業体験・指導等

(5) 語学指導補助員（日本語指導）配置

【令和8年度事業予定】

- ・小・中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒等を対象に、語学指導補助員を派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解を深め、学校生活により順応させることを図る。

【令和7年度事業実績】

- ① 市内小・中学校に在籍する児童生徒144人に語学指導補助員22人を派遣した。
- ② 派遣回数は延べ1,238回であった。

2. 教育指導課 Tel : 049-224-5483

(1) 川越市中学生社会体験事業

【令和8年度事業予定】

・キャリア教育の一環として、学校・地域・企業・行政などが連携・協力をしながら職場体験活動を実施し、学校から社会への移行のために必要な基礎的資質や能力の育成を図り、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力を育むことをねらいとする。

- ①実施対象・・・中学校1年生又は2年生の生徒
- ②実施場所・・・学区内の事業所を最優先とする。
- ③実施期間・・・各学校が設定した2～3日間

【令和7年度事業実績】

・市立中学校全22校中20校で実施した。(感染症の拡大により2校は中止)

(2) トップアスリートふれあい事業

【令和8年度事業予定】

・近隣大学のスポーツ分野で活躍する教員・監督・コーチや学生を各市立小学校に招き、一緒に体を動かすことを通して、運動の楽しさを児童が実感するとともに、日常生活の中で主体的に運動、スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。

主な内容：走り方の指導、リレーに関する指導、長距離走の指導、走る遊びを取り入れたゲーム等

【令和7年度事業実績】

- ・実施校 市内小学校 5校(川越第一小、広谷小、仙波小、霞ヶ関東小、霞ヶ関北小)
- ・参加児童数 986人
- ・協力大学 東洋大学(陸上競技部 長距離部門・短距離部門)

(3) 川越市理科実験助手派遣事業

【令和8年度事業予定】

・理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。

(小学校15校、中学校7校を予定)

- ①理科の実験・実習の準備や補助
- ②理科室・理科準備室の整備等

【令和7年度事業実績】

- ・15人の理科実験助手を、小学校15校、中学校7校に配置した(重複有)。
- ・22校に各20日、合計440回の配置を実施した。1回の配置は4時間。

(4) 川越市中学生学力調査

【令和8年度事業予定】

・義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とするとともに、進路指導の充実に資する。また、各市立中学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。

- ①調査対象・・・各市立中学校の第3学年生徒全員
- ②調査対象教科・・・国語・数学・社会・理科・英語
- ③調査実施予定日・・・第1回9月3日、第2回10月6日、第3回11月9日

Ⅱ 学校教育 教育指導課

【令和7年度事業実績】

- ・第3学年を対象に、第1回調査を9月3日、第2回調査を10月2日、第3回調査を11月5日に実施した。

（5）学校図書館学校司書配置

【令和8年度事業予定】

- ・学校図書館教育の充実を図るために、学校司書を配置する。学校司書は、概ね以下の活動を行う。
 - ①学校図書館図書の受入れ・廃棄・配架・貸出し・返却等の事務
 - ②学校図書館の美化・整理事務
 - ③児童生徒の読書意欲の喚起や資料提供
 - ④児童生徒や教職員への資料提供

【令和7年度事業実績】

- ・合計28人の学校司書を各市立小・中・特別支援学校の全校に配置した（重複有）。
- ・学校司書の研修会を年4回開催した。

（6）ネットパトロール事業

【令和8年度事業予定】

- ・各市立学校を対象に、児童生徒をネット上のいじめ等から守るために、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視をするとともに、24時間体制でいじめ等の相談や情報提供を受け付けるインターネット上の窓口を開設し、適切に対処する。
- ・学習者用データを閲覧し、児童生徒及びその関係者の生命・心身・財産に対して脅威となるものや脅威につながる恐れのあるものを発見し、適切に対処する。

【令和7年度事業実績】

- ・各市立学校を対象に、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視を通年で行った。
129件の報告（目視投稿件数16,924件）※学校に報告、指導・対応済み
＜内訳＞
 - 悩み（学校生活） 0件 いじめに関する投稿 0件
 - 不適切な内容（個人情報に関する内容） 129件
- ・各市立学校を対象とした学習者用コンピュータに関わるネットパトロールを行い、適切に対処した。

リスク4（いじめに繋がる記載があるもの）	・・・	24件
リスク3（いじめに繋がる恐れがある記載のあるもの）	・・・	116件
リスク2（学習に関連がなく、不適切な記載のあるもの）	・・・	50,306件
リスク1（問題のないもの）	・・・	300,202件

（7）学校教育の情報化の推進

【令和8年度事業予定】

- ・情報教育推進委員会等を通して、ICTを効果的に活用した授業等の実践を各市立小・中学校に展開する。
- ・教員のICT活用指導力を向上させ、ICTを活用した授業の実施を推進するため、管理職研修会やオンデマンド研修等、受講対象者に合わせた研修を実施する。
- ・国の計画で示されている内容に基づき、学習者用コンピュータの更新、デジタルドリルや採点システムの導入を行うとともに、新規に整備するICT機器の選定やネットワークのセキュリティ対策について検討する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・リーディング DX スクール事業において、指定校（市立小学校 1 校・市立中学校 1 校）を指定し、ICT を効果的に活用した実践事例の創出を行った。9 本の ICT を活用した授業動画と 1 本の有識者を講師に迎えた研修動画を県内及び市内学校に対して公開し、実践内容の展開を図った。
- ・ICT を効果的に活用した授業が行われるよう、管理職研修会、キックスタートプログラムコア研修会、オンデマンド研修会等を実施した。
- ・学校教育における情報機器の安定的な活用のため、GIGA スクール運営支援センターの整備・運用及び学習者用コンピュータの故障・破損時に対応を行った。
- ・学習者用コンピュータの活用を推進するため、川越市教職員専用「川越市 GIGA ポータルサイト」を運用し、活用事例やリーフレットの共有を図った。

（８）学校部活動の地域連携・地域展開の推進

【令和 8 年度事業予定】

川越市立中学校における部活動について、地域の人材を活用した指導体制の改善等の地域連携を充実させながら、休日の地域クラブ活動への展開を進めていく。

①川越市立中学校部活動指導員配置事業

川越市立中学校における部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図るため、学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 78 条の 2 に規定する部活動指導員を配置する。

配置予定人数・・・22 人

②川越市立中学校部活動支援員配置事業

川越市立中学校における部活動に対し、専門的な指導が行える地域の人材を活用することで、生徒の自主的・主体的な活動の一層の充実及び教員の負担軽減を図るため、部活動支援員を配置する。

【令和 7 年度事業実績】

①部活動指導員配置事業

- ・配置人数 16 人（文化部 4 人 運動部 12 人）
- ・配置校 13 校（川越第一、初雁、富士見、野田、城南、東、高階西、砂、福原、大東西、川越西、名細、山田）
- ・配置部活動数 8（吹奏楽〔4 校〕、女子バスケ、男子バスケ〔2 校〕、剣道〔3 校〕、男子卓球、バドミントン、女子バレー〔2 校〕、サッカー）

②部活動支援員配置事業

- ・配置希望があった市立中学校 12 校に、17 人（文化部 4 人、運動部 13 人）を配置した。

（９）川越市立小学校水泳指導等業務委託

【令和 8 年度事業予定】

- ・より効率的で効果的な水泳指導をするため、一部の学校において、民間事業者への業務委託による水泳授業を行う。令和 8 年度は、4 施設 5 校での取組を行う。

施設 1・・・仙波小学校 全学年

施設 2・・・南古谷小学校 全学年

施設 3・・・新宿小学校 全学年、武蔵野小学校 全学年〔2 校同施設〕

施設 4・・・上戸小学校 一部の学年

【令和 7 年度事業実績】※令和 5 年度から令和 7 年度までは、試行期間として実施

モデル 1・・・仙波小学校 全学年（延べ 2,924 人）

モデル 2・・・南古谷小学校 全学年（延べ 3,081 人）

モデル 3・・・新宿小学校 全学年（延べ 2,444 人） 武蔵野小学校 全学年（延べ 2,728 人）
〔2 校同施設〕

モデル 4・・・上戸小学校 一部の学年（4・5 年 延べ 652 人）

Ⅱ 学校教育 教育指導課

学校保健

①令和８年度 学校保健関係行事

○ 児童生徒定期健康診断	(４月～６月)
○ 児童生徒心臓検診	(４月～６月)
○ 教職員健康診断	(４月～８月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(４月～３月)
○ 学校飲料水検査	(５月)
○ B型肝炎予防接種（養護教諭）	(６月～３月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期６月～１０月、後期１月～２月)
○ 学校プール水質検査	(６月～８月)
○ 川越市学校保健会総会	(７月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(７月～９月)
○ 教室等の空気検査	(７月～８月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(６月～７月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(９月)
○ 砂場の細菌検査	(９月～１０月)
○ 就学時健康診断	(１０月～１１月)
○ 歯科保健指導	(１０月～１月)
○ 歯科保健指導者研修会	(１１月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(１月)
○ 学校保健会理事会	(３月)

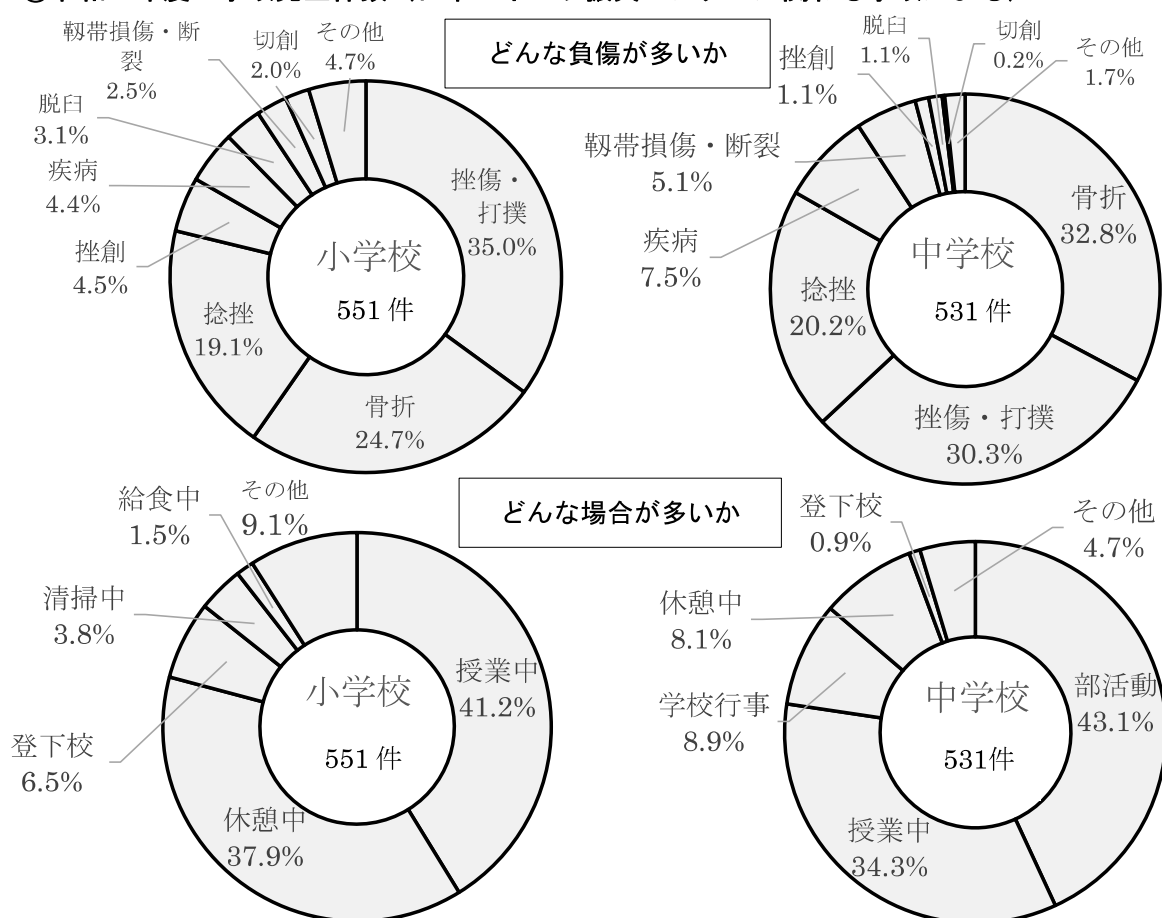
②令和７年度 日本スポーツ振興センター災害共済給付状況（医療費）

(単位：円)

月別	小学校		中学校		特別支援学校・市立高校		件数計	金額計
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額		
4	98	881,283	80	754,318	0	0	178	1,635,601
5	69	322,704	84	1,177,325	7	39,340	160	1,539,369
6	95	473,264	90	432,959	21	683,595	206	1,589,818
7	86	430,539	101	886,209	4	38,008	191	1,354,756
8	82	590,900	102	1,026,024	22	234,035	206	1,850,959
9	16	91,044	49	411,205	10	69,984	75	572,233
10	87	617,147	111	1,241,098	19	86,092	217	1,944,337
11	62	805,305	86	1,302,231	15	64,687	163	2,172,223
12	74	626,250	66	654,622	5	29,628	145	1,310,500
1	74	607,492	69	517,533	10	50,954	153	1,175,979
2	73	556,288	69	375,465	22	542,190	164	1,473,943
3	91	684,231	115	1,088,880	8	27,917	214	1,801,028
計	907	6,686,447	1,022	9,867,869	143	1,866,430	2,072	18,420,746

※令和６年度給付総計 2,409件 19,261,137円
 令和５年度給付総計 2,522件 18,015,272円
 令和４年度給付総計 2,571件 21,695,866円
 令和３年度給付総計 2,480件 20,736,509円
 令和２年度給付総計 2,285件 17,575,461円

③令和7年度 事故発生件数（日本スポーツ振興センターに関わる事故による）



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

Ⅱ 学校教育 教育指導課

④児童生徒の体位（令和７年度）

市 県 学 校 性 別 学 年 別			身長（cm）				体重（kg）			
			市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値
男	小学 校	1	116.3	4.9	117.2	116.7	21.3	3.4	21.6	21.4
		2	122.3	5.5	122.7	122.6	24.2	4.6	24.4	24.2
		3	128.2	5.6	128.7	128.5	27.7	6.0	27.8	27.6
		4	133.9	5.9	134.4	134.0	31.5	7.1	31.7	31.2
		5	139.4	6.3	139.9	139.7	34.9	7.8	35.3	35.2
		6	145.5	7.5	146.1	146.0	39.4	9.8	39.7	39.6
	中学 校	1	153.0	8.1	153.7	154.0	44.5	10.1	44.7	45.3
		2	160.6	7.8	161.0	161.1	50.3	11.6	49.7	50.5
		3	165.7	6.4	166.3	166.1	54.8	10.5	55.5	55.0
	高 校	1	166.3	—	168.0	168.6	56.0	—	58.9	59.0
		2	169.9	—	170.0	169.9	60.9	—	61.2	60.5
		3	170.3	—	171.0	170.8	61.9	—	62.0	62.2
	特別 支援	1	163.4	—	—	—	52.9	—	—	—
		2	170.0	—	—	—	60.2	—	—	—
		3	170.9	—	—	—	60.9	—	—	—
女	小学 校	1	115.2	4.9	116.2	115.8	20.9	3.3	21.1	21.0
		2	121.2	5.4	121.9	121.8	23.7	4.3	23.8	23.7
		3	127.7	5.7	127.9	127.7	27.1	5.2	27.1	26.9
		4	133.7	6.4	134.3	134.1	30.7	6.3	30.6	30.5
		5	140.6	6.9	141.5	141.1	34.9	7.9	35.3	35.0
		6	147.3	6.6	148.6	147.8	39.9	8.1	40.8	40.1
	中学 校	1	151.7	5.9	152.4	152.3	44.2	8.3	44.5	44.4
		2	154.9	5.5	155.2	155.0	48.1	8.5	47.7	47.5
		3	156.4	5.3	156.6	156.4	50.1	7.9	49.9	49.6
	高 校	1	156.7	—	157.2	157.1	52.1	—	51.6	51.1
		2	156.0	—	157.7	157.7	53.4	—	52.0	52.0
		3	155.1	—	158.0	158.0	51.6	—	53.1	52.5
	特別 支援	1	156.1	—	—	—	53.1	—	—	—
		2	153.7	—	—	—	54.4	—	—	—
		3	152.0	—	—	—	49.9	—	—	—

※県、全国の平均値は、令和6年度学校保健統計調査報告書（埼玉県総務部統計課発行）による。

※調査対象：県・全国は全国児童生徒数の一部を抽出。

※市の平均値については、令和7年度のもの。

⑤児童生徒の「新体力テスト」平均値

(令和7年度)

種目名	学校		小学校						中学校		
	学年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走 (秒)	川越市	男子	11.69	10.82	10.26	9.84	9.38	9.00	8.67	7.93	7.53
			埼玉県	11.60	10.76	10.21	9.78	9.40	8.96	8.59	7.91
	埼玉県	女子	11.99	11.22	10.67	10.18	9.68	9.36	9.17	8.80	8.73
			川越市	11.92	11.14	10.58	10.10	9.65	9.26	9.11	8.78
立ち幅とび (cm)	川越市	男子	112.72	124.67	133.83	141.20	150.72	160.33	179.50	197.78	213.02
			埼玉県	115.44	127.13	137.29	146.06	154.62	165.61	182.65	202.31
	埼玉県	女子	104.87	115.22	125.92	133.29	144.19	150.88	160.78	169.06	171.99
			川越市	107.86	118.36	128.80	138.31	147.48	156.33	165.39	173.47
ボール投げ (m)	川越市	男子	7.86	10.90	13.85	16.91	19.58	22.76	16.98	20.46	23.14
			埼玉県	8.11	11.03	14.14	17.17	20.03	23.34	17.83	21.49
	埼玉県	女子	5.43	7.02	9.05	10.93	12.71	14.33	10.80	12.77	13.68
			川越市	5.70	7.32	9.29	11.18	13.18	15.04	11.68	13.58
握力 (kg)	川越市	男子	8.57	10.17	11.74	13.36	15.57	18.64	23.62	29.57	34.77
			埼玉県	8.82	10.47	12.09	13.98	15.97	18.85	23.55	29.57
	埼玉県	女子	8.03	9.41	11.34	12.78	15.44	18.36	21.68	24.32	25.75
			川越市	8.35	9.90	11.51	13.38	15.85	18.77	21.42	24.09
上体起こし (回)	川越市	男子	11.82	15.34	17.22	19.13	20.50	22.37	24.27	27.98	29.98
			埼玉県	12.38	15.62	17.82	19.67	21.39	22.94	24.81	28.39
	埼玉県	女子	11.11	14.59	16.42	18.20	20.05	20.92	21.33	24.09	24.99
			川越市	11.77	14.92	17.05	18.86	20.59	21.66	22.15	24.67
長座体前屈 (cm)	川越市	男子	26.21	28.31	31.00	31.94	34.08	36.85	41.43	46.73	50.64
			埼玉県	27.18	29.12	31.26	33.22	35.50	37.99	43.55	49.28
	埼玉県	女子	28.51	31.22	34.54	36.43	39.38	42.40	45.47	49.31	51.48
			川越市	29.69	32.27	34.80	37.29	40.41	43.40	47.15	51.50
反復横とび (点)	川越市	男子	26.58	30.31	33.69	39.00	41.76	45.04	46.10	50.82	52.67
			埼玉県	28.09	32.25	35.73	39.83	43.40	46.22	48.37	52.47
	埼玉県	女子	25.40	28.41	31.93	36.25	39.81	42.13	42.41	44.99	45.47
			川越市	26.67	30.34	33.69	37.69	41.36	43.78	44.67	46.84
20mシャトルラン (回)	川越市	男子	19.17	29.19	36.11	44.47	50.96	57.70	—	—	—
			埼玉県	21.04	31.12	39.00	45.99	52.38	58.81	—	—
	埼玉県	女子	16.52	22.77	27.23	35.07	41.52	44.98	—	—	—
			川越市	17.57	24.30	29.78	35.81	42.18	46.65	—	—
持久走 (秒)	川越市	男子	—	—	—	—	—	—	7分06秒	6分33秒	6分17秒
			埼玉県	—	—	—	—	—	7分07秒	6分32秒	6分17秒
	埼玉県	女子	—	—	—	—	—	—	5分10秒	4分57秒	4分54秒
			川越市	—	—	—	—	—	5分10秒	4分55秒	4分55秒

※小学校は、20mシャトルラン。中学校は、持久走。

※持久走の距離は、男子が1,500m、女子が1,000m。

Ⅱ 学校教育 学校給食課

3. 学校給食課 Tel : 049-223-6035

施設名	所在地	電話	ファクス	建築年度
菅間学校給食センター	菅 間 1 8 - 9	223-3038	223-0935	平成 17 年
菅間第二学校給食センター	菅 間 1 8 - 1	229-6670	229-5105	平成 29 年
今成学校給食センター	今 成 2 - 3 5 - 5	223-0891	226-4556	昭和44年 ※H5 改築

令和 8 年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧

(令和 8 年 5 月 1 日現在)

センター名	給食数	小・中別	対 象 校
菅間学校給食センター (※給食規模：12,000食)	10,517食	小学校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
菅間第二学校給食センター (※給食規模：12,000食)	6,603食	小学校 12校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原・霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
	4,660食	中学校 11校 特別支援学校 1校	初雁・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・寺尾・砂・福原・山田・特別支援学校
今成学校給食センター (※給食規模：6,000食)	4,526食	中学校 11校	川越第一・富士見・野田・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井
合 計	26,306食	55 校	

(1) 学校給食・食育の充実

① 食育の推進

【令和 8 年度事業予定】

- ・児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図る。
- ・給食内容や食生活指導等を中心とした「給食だより」を発行し、家庭と連携した食育の指導の推進を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ・小学校 2 年生延べ 5, 1 6 6 人を対象に、食に関する指導を行った。
- ・学校からの依頼により授業での食に関する指導、給食指導、保健委員会講話等を計 3 4 6 回実施した。
- ・「給食だより」を年 4 回発行した。

② 給食内容の充実

【令和 8 年度事業予定】

- ・「学校給食摂取基準」を基に学校給食の提供を実施し、栄養バランスの取れた献立内容の充実を図る。
- ・安全な食材の確保に努め、よりよい学校給食の提供を行う。
- ・川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努める。
- ・アレルギー対応食について、安全で確実な実施体制を保持し、内容の充実を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ・川越産米を約 2 4 5 t 使用した。(使用割合 1 0 0 %)
- ・米、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、人参、枝豆、とうもろこしなど 1 8 品目の川越産農産物を使用した。
- ・アレルギー対応食の申請を児童 9 1 人、生徒 2 5 人から受けて対応した。(令和 7 年 5 月 1 日時点)

③ 試食会**【令和 8 年度事業予定】**

- ・児童生徒の保護者等に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・3 6 回の開催で 7 1 9 人が参加した。

④ 学校給食施設の整備**【令和 8 年度事業予定】**

- ・P F I 方式で整備した菅間第二学校給食センターの維持管理状況について検査する。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの適切な維持管理を行い、安全・安心な学校給食の提供を行う。
- ・菅間学校給食センターの厨房設備改修工事及び冷暖房設備改修工事を実施する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・P F I 方式で整備した菅間第二学校給食センターの維持管理状況について検査を行った。
- ・菅間学校給食センターの厨房設備改修工事及び冷暖房設備改修工事設計業務委託を実施した。

⑤ 食材の安全確保、学校給食食材の放射性物質検査**【令和 8 年度事業予定】**

- ・安全・安心でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努める。
- ・学校給食の安全性について市民の皆様に更に安心していただくため、食材用の放射能検査機器を用いて、小学校（菅間 A ブロック）、中学校（菅間第二 C ブロック）の 1 食分完成品について、放射性物質の自主検査を実施する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・学期に 1 回、小学校（菅間 A ブロック）、中学校（菅間第二 C ブロック）の 1 食分の完成品について放射性物質の自主検査を実施した結果、すべて不検出であった。

Ⅱ 学校教育 学校給食課

学校給食費

- ・学校給食費は、令和８年度から、市立小学校所属の児童並びに市内在住の市立中学校及び特別支援学校の生徒を対象に無償化し、教職員等については、実費徴収金として金融機関による口座引き落とし（一部納付書払い）により、徴収している。

① 学校給食費（令和８年度）

区 分	月 額	年 額	徴収月数	給食日数	1食当たり単価	備 考
小学校	5,200円	57,200円	11か月	188日	304円25銭	令和8年4月改定
中学校 特別支援学校	6,300円	69,300円	11か月	189日	366円66銭	令和8年4月改定

※令和８年４月に小学校分を 4,350 円から 5,200 円に、中学校分及び特別支援学校分を 5,250 円から 6,300 円に改定したものです。

② 1食当たり単価（令和７年度実績・保護者負担額）

令和７年度 1 学期

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計
小学校	71円39銭	200cc 64円87銭	118円26銭	254円52銭
中学校 特別支援学校	90円50銭	200cc 64円87銭	150円18銭	305円55銭

令和７年度 2・3 学期（2 分の 1 減額）

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計
小学校	38円44銭	200cc 32円43銭	56円39銭	127円26銭
中学校 特別支援学校	47円76銭	200cc 32円43銭	72円58銭	152円77銭

令和７年度 賄材料費 実際の単価

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計
小学校	74円88銭	200cc 64円87銭	167円55銭	307円30銭
中学校 特別支援学校	93円66銭	200cc 64円87銭	229円03銭	387円56銭

学校給食摂取基準

- ・学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。

現行の基準は令和3年4月に改定され、次のように定められている。

区 分	小 学 校 児 童 の 場 合			中学校生徒の場合
	低学年（6～7 歳）	中学年（8～9 歳）	高学年（10～11 歳）	
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%			
ナトリウム（食塩相当量）(g)	1.5 未満	2 未満	2 未満	2.5 未満
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
カルシウム (mg)	290	350	360	450
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μg RAE)	160	200	240	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4 以上	4.5 以上	5 以上	7 以上

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

亜鉛……………児童(6～7 歳)2 mg・(8～9 歳)2 mg・(10～11 歳)2 mg、生徒(12～14 歳)3 mg

4. 市立川越高等学校 Tel : 049-243-0800

- (1) 名称 川越市立川越高等学校
 (2) 所在地 旭町2-3-7 (電話 049-243-0800・ファクス 049-247-6828)
 (3) 沿革

市立川越高等学校は、大正15年に埼玉県川越商業学校として開校以来、校名変更、学科転換等の変遷を辿りながら着実な歩み続け、今年度に創立100周年を迎えることになった。なお、現校名と現学科は、平成14年度からの名称である。

近年、普通科では、大学・短大の現役進学率が74%前後を維持している。また、商業系学科(情報処理科・国際経済科)では、商業高等学校の時代から引き続き専門資格の高い取得率と進学・就職実績を上げている。

また、卒業生は、2万7千人を超えており、さまざまな分野で活躍をしている。

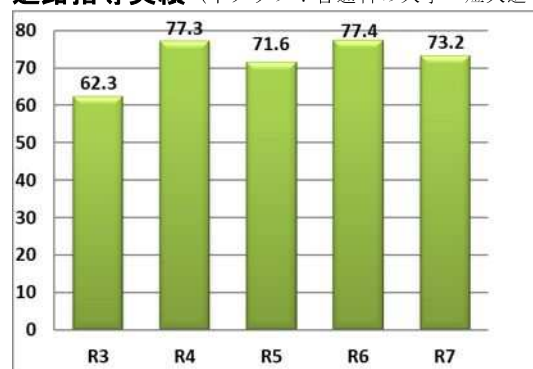
(1) 進路希望の実現

【令和8年度活動予定】

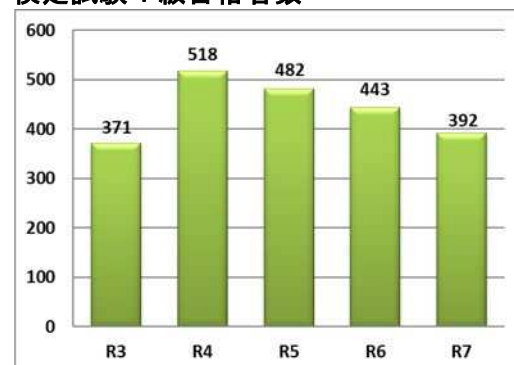
- ・平成24年度の1年生から導入したすべての学科の35人少人数学級編制及び入学者選抜における「地域特別選抜」を引き続き実施する。
- ・3年生では進路希望に合わせた科目を選択し、一人ひとりにきめ細かな学習指導を実施する。

【令和7年度活動実績】

進路指導実績 (下グラフ：普通科の大学・短大進学率)



検定試験1級合格者数



○主な進学先(令和8年3月実績)

埼玉県立大、学習院大、法政大、明治学院大、獨協大、國學院大、武蔵大、日本大、東洋大、駒澤大、専修大、大東文化大、亜細亜大、帝京大、国土館大、拓殖大、東京電機大、東京農業大、東京経済大、東京国際大、順天堂大、日本体育大、淑徳大、埼玉医科大、日本栄養大、埼玉医科大短大部、武蔵丘短大、他

検定種目(8種)：簿記、情報処理(ビジネス情報・プログラミング)、ビジネス文書、電卓、英語、商業経済、財務諸表分析

○主な就職先(令和8年3月卒)

内閣府、法務省、財務省、警察庁、衆議院事務局、参議院事務局、裁判所事務局、警視庁、東京消防庁、(株)東和銀行、(株)足利銀行、西武鉄道(株)、本田技研工業(株)、山王テック(株)、東洋水産(株)、(株)シード、トーヨーケム(株)、(株)日立システムズパワーサービス、日販ビジネスパートナーズ(株)、埼玉トヨペット(株)、他

(2) 部活動の充実

【令和8年度活動予定】

- ・現在、運動部と文化部合わせて、33の部活動が活動している。生徒が主体性を持ち、積極的に活動できるように、外部指導者を活用するなど、充実した指導を行っていく。

【令和7年度活動実績】

・運動部

① 野球部

令和7年度春季埼玉県高等学校野球大会 ベスト4

② バレーボール部（女子）

関東女子バレーボール大会 埼玉県予選会 ベスト4

全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選会 ベスト4

全日本バレーボール高等学校選手権大会 埼玉県予選会 第3位

③ バスケットボール部（女子）

関東高等学校体育大会 埼玉県予選会 第7位

全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選会 第5位

ウィンターカップ 埼玉県予選会 第5位

④ 柔道部（女子）

関東高等学校柔道大会 埼玉県予選会 団体試合 第5位

関東高等学校柔道大会 東京大会 団体試合 出場

関東高等学校選抜大会 埼玉県予選会 女子個人試合 第3位

⑤ 体操部

関東高等学校体操競技選手権大会 埼玉県予選会 男子団体 第6位

全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選会 男子団体 第6位

埼玉県高等学校体操競技新人大会 男子団体 第5位

⑥ チアダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2025 全国大会 第3位

全日本チアダンス選手権大会 全国大会 第8位

・文化部

① ビジネス部

全国高等学校ビジネス計算競技大会 埼玉県予選会

個人総合競技 2等2席 及び 種目別競技 3等1席 1人

全国高等学校ビジネス計算競技大会 総合競技・個人別競技 出場

② O A 部

全国高等学校ワープロ競技大会 埼玉県予選会 団体の部 優良賞

全国高等学校ワープロ競技大会 埼玉県予選会 個人の部 2位2席 1人、正確賞 1人

全国高等学校ワープロ競技大会 個人の部 出場

（3）小中高連携の推進

【令和8年度活動予定】

- ・小中高連携を実施することで、異なる学校種の活動についての理解を深め、発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実を図る。また、地域と連携し、地域に貢献していきながら、魅力ある学校づくりを進めるとともに、その取組を周知していく。活動内容は、昨年度同様、各種取組を計画している。

【令和7年度活動実績】

- ・生徒会による高校生活紹介（Google Meetでの対応） 7月14日及び15日実施
鯨井、大東西、高階、高階西、寺尾、名細、東、山田、芳野 計9つの中学校が参加
- ・管理職による進路ガイダンス 城南中学校で実施
- ・管理職による学校説明会
福原、大東、南古谷、霞ヶ関、霞ヶ関東、初雁 計6つの中学校で実施
- ・中学校PTAが主催する学校見学説明会 山田中学校で実施
- ・小学生対象学校体験会 11月22日実施
体操教室、理科実験、パソコン教室、硬式テニス教室など高校で行われる授業等を提供した。
- ・小学校の町探検受入 12月12日実施 大塚小学校の児童を受け入れ

Ⅱ 学校教育 教育センター

5. 教育センター Tel : 049-235-7591

(1) 名 称 川越市立教育センター

(2) 所在地 川越市古谷上6083-10 (電話 049-235-7591・ファクス 049-230-1023)

(3) 沿 革

昭和56年 8月1日 川越市立教育研究所準備室を設置する。

昭和61年 4月1日 川越市立教育研究所を開設する。

平成12年 4月1日 川越市教育総合相談センター（リバーラ）を開設する。

平成15年 4月1日 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。

平成19年 4月1日 組織改編に伴い係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。

平成21年 4月1日 旧川越市立古谷東小学校を教育研究所施設とする。

平成22年 4月1日 川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室（リバーラ）を設置する。

平成27年 4月1日 いじめ相談直通電話を教育センター分室（リバーラ）から移設する。

令和元年10月1日 川越市立教育センター分室（リバーラ）を教育センター第一分室（リバーラ）とし、あけぼの・ひかり児童園旧園舎に川越市立教育センター第二分室を設置する。

(4) 業務内容

＜センター研修及び学校の要請に基づく研修に関すること＞

① 各経験者研修（臨時的任用教員研修、初任者研修、指導力スキルアップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、20年経験者研修）や各教科研修等の企画・運営

＜教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること＞

① 学力向上に関する調査・研究

② 小学校外国語活動・外国語科・中学校英語に関する調査・研究

③ 不登校に関する調査・研究

④ 特別支援教育推進に関する調査・研究

＜教育に関する資料の収集及び提供に関すること＞

① 図書、研究物の収集整理に関すること

② 学習指導関係資料の収集整理に関すること

③ 雑誌、パンフレット等の収集整理に関すること

④ 上記の資料等の利用、提供に関すること

（１）教職員の資質向上

【令和8年度事業予定】

・経験者研修、特定研修、専門研修等について、各教職員が資質向上を図ることができるようにするため、学校や社会、教職員のニーズ等を踏まえた内容の充実を図るとともに、研修履歴の記録を活用し、教職員が自らの学びを振り返り、必要な学びを主体的に行う「対話に基づく受講奨励」を実施する。

【令和 7 年度事業実績】

令和 7 年度川越市主催研修・埼玉県主催研修参加者一覧

	研修区分		研修概要	参加者数(人)
川越市主催	1	専門研修 (希望研修)	川越市の実態を踏まえ、各教科等において、専門的知識・技能の習得を図るとともに、幅広い実践的指導力の向上を目指す研修である。自らの資質向上のために希望して参加できる。	744
	2	経験者研修	教員の経験段階に応じて職務遂行に必要な知識・技能等の習得を図る研修である。	492
	3	特定研修 (指定)	教育活動の充実及び組織的・機能的な学校運営を図るため、指定された教員に対して実施する。担当者の職務遂行に必要な専門的知識・技能の習得を図ったり、川越市としての教育の在り方を担当者に伝達して各学校に広めたりする研修である。	2,125
	4	管理職等研修	校長、教頭等の管理職や管理職候補者を対象とした研修である。	115
	5	要請研修	学校の要請に応じて支援援助し、指導力の向上を図るための研修である。	1,396
	6	会計年度任用職員研修	川越市の会計年度任用職員が、職務を遂行するために必要な知識・技能等の習得を図るための研修である。	185
川越市合計				5,057
埼玉県主催	総合教育センター	特定研修（推薦）		19
		管理職研修（3事業）		26
		専門研修（希望）		7
		年次研修		11
		要請研修		0
		総合教育センター小計		63
	各課研修	人権教育課		117
		義務教育指導課		0
		高校教育指導課		0
		保健体育課		133
		特別支援教育課		12
		生徒指導課		56
		小中学校人事課		117
		県立学校部県立学校人事課		1
		教職員採用課		0
	各課小計		436	
埼玉県合計				499
川越市・埼玉県合計				5,556

※その他、県教委や民間等の研修に、本人の希望や市教委の推薦（又は選考）により参加する研修がある。

(2) 英語指導助手の配置事業の充実

【令和8年度事業予定】

- ・児童生徒の外国語でコミュニケーションを図る資質・能力の向上を育成するため、市立学校全校に英語指導助手を配置し、児童生徒が生きた英語に触れる機会を一層充実していく。
- ・英語指導助手と教員とのより良いチーム・ティーチング（共同授業）の実現や授業外での教育活動の充実に向けて、各学校を訪問して指導及び支援を進める。また、英語指導助手が日本の学校教育への理解を深めたり、授業での役割や児童生徒への効果的な働きかけ等について学んだりできるよう、研修会の充実を図る。
- ・児童生徒が自国や他国の言語や文化を理解し、グローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力を身に付けることができるよう、川越市イングリッシュキャンプ等、児童生徒が生きた英語に触れ、英語を実践的に活用する機会の確保を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・現地2人、KET2人、JET10人、派遣契約17人の英語指導助手を配置した。

＜訪問実績＞

- ・英語指導助手31人
- ・英語指導助手との共同授業による1日平均授業時数（時間） 小学校 4.7 中学校 4.0
- ・英語指導助手の1校あたりの年間訪問日数（日） 小学校 101.6 中学校 72.4
- ・英語指導助手の年間訪問日数（日）
小学校 3,252 中学校 1,592 市立川越高等学校 116 市立特別支援 14 合計 4,974

英語指導助手配置状況の推移

（単位：人）

	H3	H4 ～ H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18 ～ H21	H22	H23	H24 ～ H25	H26	H27	H28 ～ H29	H30 ～ R2	R3	R4 ～ R7
JET	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	9	10
KET	2	3	5	5	6	7	7	8	10	8	5	5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	4	5	3	4	4	5	5	3	2
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	9	11	13	14	—	—	—	—	—	—	—	—
派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	16	16	17	17	17	17	17
合計	3	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	22	23	24	30	31	31

※ JET（語学指導等を行う外国青年招致事業） KET（川越市姉妹都市交流事業） 現地（川越市在住外国人）

委嘱学校研究等一覧

1. 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学校名	研究の内容	発表 予定日	研究主題
①川越第一小学校	確かな学力 の育成	11月13日	失敗をおそれず未来を切り拓く 「こえどっ子」の育成 ～挑戦～
②牛子小学校	確かな学力 の育成	2月5日	主体的な伝え合いを通して、協働的に学びを深める児童の育成
③高階西中学校	確かな学力 の育成	10月13日	ICTを活用し、川越市小・中学生学力向上プランで目指す 生徒の主体的・協働的で深い学びの実現 ～理解・共有、定着、深化のスパイラルにICTを～

2. 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学校名	研究の内容	研究主題
①南古谷小学校	確かな学力 の育成	非認知能力の育成を意識した国語科実践 ～非認知能力を高め、学力向上につなげるために～
②高階北小学校	豊かな心と 健やかな体 の育成	PBSでつくる 笑顔あふれる高北っ子の育成

委嘱学校研究校は2年計画で行っている。

2年目の3校は令和7年度から令和8年度までの委嘱学校研究校、1年目の2校は令和8年度からの委嘱学校研究校

3. 文科学委託事業（埼玉県教育委員会再委託事業）

学校名	事業名
今成小学校	学校向上研究校指定事業（令和8・9年度）

Ⅱ 学校教育 教育センター

教育センター第一分室(リベール) 教育センター第二分室

- (1) ① 川越市立教育センター第一分室(リベール)
② 川越市立教育センター第二分室
 - (2) 所在地 ① 川越市の場2649-1(電話 049-234-8333・ファクス 049-234-8337)
② 川越市宮下町1-19-12(電話 049-224-7788)
 - (3) 沿革
昭和39年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設する。
昭和53年 中央小学校内に移設(川越小学校校舎改修のため)する。
昭和55年 初雁中学校内に移設(中央小学校校舎改修のため)する。
昭和56年 川越小学校内に移設(川越小学校新築に伴い)する。
昭和58年 電話相談室を川越小学校内に開設する。
平成元年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設する。
平成6年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設する。
平成12年 川越市教育総合相談センター・リベールを開設する。
平成15年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる。
平成18年 いじめ相談直通電話を開設する。
平成22年 川越市立教育センター分室(リベール)に名称を変更する。
平成25年 いじめ相談電子窓口を開設する。
平成27年 いじめ相談直通電話を川越市立教育センターに移設する。
令和元年 川越市立教育センター分室(リベール)を教育センター第一分室(リベール)とし、あけぼの・ひかり児童園旧園舎に川越市立教育センター第二分室を設置する。
令和2年 川越市民サービスステーション(川越駅西口U-PLACE 3階)内に教育相談窓口を設置する。
 - (4) 設置の目的
児童生徒の多様な悩み等に対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図る。
 - (5) 教育相談の内容等
 - ① 相談内容
○いじめ・不登校についての相談 ○友達等学校生活についての相談
○学習・発達についての相談 ○性格・行動・情緒についての相談
○言葉についての相談 ○療育・しつけ等についての相談
○非行・問題行動についての相談 ○就学に関する相談
 - ② 相談受理対象者
川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員
 - ③ 相談日時
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)
 - ④ 電話相談
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後4時)
 - ⑤ 教育支援室(つばさ教室)※小学生及び中学生対象教室
＜開設日及び開設時間＞
・開設日 月曜日から金曜日(祝休日を除く)
・開設時間 午前9時30分～午後3時
＜通室までの手順及び手続き＞
・面接相談→体験通室→校長と相談のうえ申込→通室申請→通室決定
 - ⑥ 教育支援室(小学生学習支援室)
＜開設日及び開設時間＞
・開設日 月曜日から金曜日(祝休日を除く)
・開設時間 午前9時～正午
＜通室までの手順及び手続き＞
・面接相談→体験通室→校長と相談のうえ申込→通室申請→通室決定
- (川越市立教育センターにおいて開設)
- ① いじめ相談直通電話
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)
土曜日・日曜日・祝休日(12月29日～1月3日を除く)、(受付時間 午前9時～正午)
 - ② いじめ相談電子窓口
川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

（１）不登校支援の推進

【令和８年度事業予定】

- ・不登校児童生徒へのきめ細かな支援や対応として、「不登校児童生徒支援プラン」に基づき、さわやか相談員等の配置や学生支援員の派遣、教育支援室の充実、校内学習室の活用、不登校対策支援セミナーの開催等を実施する。
- ・校内学習室支援員を市内８校に配置し、不登校児童生徒の学びの保障と居場所を充実させる。
- ・川越市立川越第一中学校において、バーチャル登校をトライアル実施し、効果検証を行う。

【令和７年度事業実績】

- ・臨床心理士を週１回、教育センター第一分室（リベアラ）に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を実施した。
- ・川越市いじめ・不登校対策検討委員会において、「校内学習室活用事例集２」を作成し、各市立小・中学校へ周知した。
- ・保護者向け「不登校対策支援セミナー」を３回開催し、不登校支援に造詣の深い児童精神科医、大学教授、臨床心理士を講師に招聘し、講演会や座談会を実施した。参加人数１０５人
- ・不登校の児童生徒に対し、県と共同主催メタバース事業を実施した。

（２）教育相談の充実

【令和８年度事業予定】

- ・教育に関する悩みや心配等を抱えている保護者や小学生、中学生等の支援を行う。
- ・全市立中学校に配置予定の、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みをもつ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進する。
- ・スクールカウンセラーや教育センター第一分室（リベアラ）の臨床心理士、スクールソーシャルワーカーなど、専門的知識を有する人材を活用し、児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図る。
- ・スクールソーシャルワーカーを増員し、定期的な相談体制を整える。

【令和７年度事業実績】

- ・リベアラにおける教育相談は、延べ３，０２７件あった。そのうち面接相談の件数は、２，６７７件、電話相談１８８件、いじめ相談直通電話３０件、いじめ相談電子窓口１件、定期相談１３１件だった。臨床心理士の指導・助言を得ながら、適切な相談活動を実施した。
- ・面接相談の場所別延べ件数は、教育センター第一分室（リベアラ）延べ１，６４７件、教育センター第二分室延べ９６５件、教育センター延べ３７件、川越市民サービスステーション延べ２８件だった。
- ・市内２１校に配置したさわやか相談員が、児童生徒、保護者等延べ１１，４８５人の相談に対応した。
- ・小・中学校に配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、延べ７，４５５回の相談を行った。

（３）特別支援教育の充実

① 一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実

【令和８年度事業予定】

- ・令和８年度から令和１２年度までを計画期間とした「第二次川越市特別支援教育推進に関する計画」に基づき、インクルーシブ教育システムの構築に向け、多様な学びの整備や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図るため、学級運営支援員や特別支援教育支援員を配置するとともに、就学相談や特別支援教育に関する研修の充実に努める。

【令和７年度事業実績】

- ・各校からの報告によると、通常の学級に在籍する児童生徒の中で、いじめ及び不登校等生徒指導上の対応や、学習障害（ＬＤ）、注意欠如多動性障害（ＡＤＨＤ）、自閉スペクトラム（ＡＳＤ）などの発達障害等で個別の配慮や支援を必要としている児童生徒数は、年々増加している。
- ・通常の学級で配慮を要する児童生徒や、各学校の実態に応じて、学級運営支援員を配置した。
- ・特別支援学級でも通常の学級でも、個々の教育的ニーズに対応する児童生徒数は多い状況で、人的環境を整えることで、学校運営を支援することができた。

Ⅱ 学校教育 教育センター

② 就学支援の充実

【令和8年度事業予定】

- ・幼児や児童生徒のよりよい学びの場と支援の提供のため、各関係機関と情報交換を行い、就学支援委員会の意見をもとに、本人及び保護者との就学相談の一層の充実を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・就学相談が必要な児童生徒に対して、諸検査の実施や学校訪問による観察、就学前施設への聞き取り等を通して、状況を的確に把握し教育的ニーズに応じた就学先の意見を導き出した。
- ・就学支援委員会で出された意見と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、教育的ニーズに応じた就学先を決定できるようにした。
- ・保護者向け「就学相談セミナー」を年3回開催し、85人が参加した。セミナーでは、通常の学級、特別支援学級、特別支援学校の特色や教育課程等、就学や転学に係る説明を行った。
- ・就学支援委員会実施回数 11回 就学相談実施人数 431人

③ 特別支援教育の理解・啓発の推進

【令和8年度事業予定】

- ・教職員に対する特別支援教育に係る研修を充実させ、特別支援教育への理解と啓発を図る。
- ・保護者・地域・関係機関向け「発達障害セミナー」を開催し、より多くの方への特別支援教育の理解に努める。
- ・昨年度に引き続き、川越市教育委員会免許法認定講習（特別支援教育）を実施する。

【令和7年度事業実績】

- ・特別支援教育に係る管理職等研修会、全ての子供たちの居場所を作る特別支援教育コーディネーター専門研修会、特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援学級新担当教員研修会、誰一人取り残さない通常の学級担任等のための特別支援担当養成研修会、通級指導教室担当者研修会、川越市会計年度任用職員のための研修会を実施した。
- ・保護者向けセミナー「発達障害セミナー」の参加人数 43人
- ・川越市教育委員会免許法認定講習（特別支援教育）を6講座12日間実施し、教職員等延べ708人が受講した。

さわやか相談室

(1) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ① 活動場所…主に全市立中学校に設置されているさわやか相談室
- ② 活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(2) 相談内容

- ① いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ② 児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(3) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）	学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）
川越第一中学校	223-8022	砂 中 学 校	246-1322
初 雁 中 学 校	225-8022	福 原 中 学 校	247-0022
富 士 見 中 学 校	248-6722	大 東 中 学 校	247-1322
野 田 中 学 校	241-2322	大 東 西 中 学 校	248-1722
城 南 中 学 校	248-6822	霞ヶ関中学校	231-7322
芳 野 中 学 校	226-8722	霞ヶ関東中学校	232-0622
東 中 学 校	235-2622	霞ヶ関西中学校	233-3722
南古谷中学校	235-1722	川 越 西 中 学 校	233-6622
高 階 中 学 校	243-2122	名 細 中 学 校	231-8822
高階西中学校	243-8122	鯨 井 中 学 校	233-6822
寺 尾 中 学 校	247-0522	山 田 中 学 校	226-5022

特別支援学級

1. 知的障害特別支援学級：知的な障害のある児童生徒を対象に設置
(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一小学校	1	川越小学校	2
中央小学校	1	仙波小学校	1
武蔵野小学校	1	新宿小学校	1
大塚小学校	1	泉小学校	2
月越小学校	1	今成小学校	1
芳野小学校	1	古谷小学校	1
南古谷小学校	2	牛子小学校	1
高階小学校	1	高階南小学校	1
高階北小学校	2	高階西小学校	1
寺尾小学校	1	福原小学校	3
大東東小学校	2	大東西小学校	1
霞ヶ関小学校	3	霞ヶ関南小学校	1
霞ヶ関北小学校	1	霞ヶ関東小学校	1
霞ヶ関西小学校	2	川越西小学校	2
名細小学校	1	上戸小学校	1
広谷小学校	1	山田小学校	2

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一中学校	1	初雁中学校	2
富士見中学校	1	野田中学校	1
城南中学校	1	芳野中学校	1
東中学校	2	南古谷中学校	1
高階中学校	1	高階西中学校	1
寺尾中学校	1	砂中学校	1
福原中学校	1	大東中学校	1
霞ヶ関中学校	2	霞ヶ関東中学校	1
霞ヶ関西中学校	1	名細中学校	1
山田中学校	2		

2. 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置
(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一小学校	4	川越小学校	4
中央小学校	2	仙波小学校	3
武蔵野小学校	4	新宿小学校	4
大塚小学校	2	泉小学校	5
月越小学校	3	今成小学校	1
芳野小学校	1	古谷小学校	2
南古谷小学校	3	牛子小学校	2
高階小学校	3	高階南小学校	2
高階北小学校	3	高階西小学校	3
寺尾小学校	2	福原小学校	2
大東東小学校	3	大東西小学校	2
霞ヶ関小学校	5	霞ヶ関南小学校	2
霞ヶ関北小学校	2	霞ヶ関東小学校	1
霞ヶ関西小学校	2	川越西小学校	2
名細小学校	2	上戸小学校	2
広谷小学校	1	山田小学校	4

Ⅱ 学校教育 教育センター

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一中学校	2	初雁中学校	2
富士見中学校	1	野田中学校	1
城南中学校	2	東中学校	2
南古谷中学校	1	高階中学校	1
高階西中学校	1	寺尾中学校	3
砂中学校	1	福原中学校	1
大東中学校	2	大東西中学校	1
霞ヶ関中学校	2	霞ヶ関東中学校	1
霞ヶ関西中学校	2	川越西中学校	1
名細中学校	3	鯨井中学校	1
山田中学校	1		

通級指導教室

学校名	学級数	対象
川越小学校	5	通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童
牛子小学校	1	
霞ヶ関小学校	4	
中央小学校	3	
月越小学校	1	通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒
高階小学校	3	
高階北小学校	1	
霞ヶ関小学校	2	
名細小学校	1	
山田小学校	2	
富士見中学校	3	
高階中学校	2	

特別支援学校

- 昭和39年4月 川越市立養護学校として開校（小学部、中学部、高等部を漸次拡張）
- 昭和47年4月 県立川越養護学校開校に伴い、小学部、中学部を県立に移管する。
- 平成22年4月 川越市立特別支援学校に名称変更（現在の対象は、高等部のみにっている。）